

「実習」	単位数	4単位
	学科・学年	情報電子科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書・副教材等	実習指導プリント（本校）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 Java 実習 (1) 入出力 (2) 基本構造 (3) 配列とメソッド (4) アプレットの仕組み	4	<ul style="list-style-type: none"> データの入出力方法を理解する。 順次・選択・繰り返しを理解する。 メソッドの利用方法を理解する。 アプレットを Web ページに組み込む方法を理解する。 図形の作成、画像の表示方法を理解する。 Windows アプリケーションについて理解する。 ユーザインターフェイスについて理解する。 フリップフロップ、マルチバイブレータの製作と動作を理解する。 表計算ソフトを使ってデータ処理を身に付ける。 プレゼンテーション作成技法を理解する。 	
		5		
		6		
		7		
2 学期	(5) 静止画の表示 (6) 動画の表示 2 MFC 実習 (1) Windows プログラミング (2) ユーザインターフェイス	8		
		9		
		10		
3 学期	3 計測実習 (1) 非安定マルチバイブレータ回路 (2) パルス回路 4 アプリケーション (1) 表計算 (2) プレゼンテーション	11		
		12		
		1		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容の説明に注意を集中して聴いているか。 レポートを積極的に作成し、与えられた課題を意欲的にきちんとこなしているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 各実習行程の段階的な説明に意識を集中しているか。 与えられた実習課題に意欲的に取り組み、その結果を正しく表現できているか。
技 能	<ul style="list-style-type: none"> 知識を適切に活用する技術を身に付け、実際の問題を適切に処理することができるか。
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容についての基本的な知識と技術が身に付いているか。 レポートは適切になおかつ正確に作成しているか。
<ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、レポートを提出したものについて、上記の4つの観点を含めた平常の学習活動・学習態度及び出席状況により総合的に評価する。 学年末の成績は、第1・2・3学期の評価およびレポートの提出状況をもとに総合的に判断して評価する。 	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> 実習テーマごとに、実習報告書（レポート）を実習担当の先生に提出してください。内容が不備の場合、再提出を求めます。 座学で学習した内容について知識を確実にするために、予習をしてから実習に臨み、知識を深めてください。 プログラミングの授業では、エラーの修正を根気よく続けてください。実習室を昼休みや放課後も開放していますので、積極的に利用してください。
--